

裁判勝利・争議解決目指し 皆様のご支援をお願いします

その1

公正な判決を求める署名をお寄せください。



その2

裁判傍聴・ピラマキなどにご協力をお願いします。

その3

日東整争議「勝たせる会」への入会やカンパ支援をお願いします。

日東整争議のあゆみ

- 2010**
 - 1月19日 日本航空経営破綻し、会社更生法適用される
 - 3月 日本航空、整備士・地上職希望退職募集開始
 - 12月31日 パイロット81名・客室乗務員84名不当解雇
- 2011**
 - 1月21日 日東整社長「事業終了」発表する
 - 3月31日 会社解散・全員解雇・「退職」される
 - 7月21日 泉・佐藤 日東整争議団結成
 - 8月6日 東京争議団に加盟する
- 2012**
 - 3月14日 東京地裁に不当解雇撤回と日航グループ内での雇用継続を求めて提訴する

《発行元》

航空労組連絡会・日東航空整備争議団

〒144-0043 東京都大田区羽田 5-11-4 フェニックスビル 航空連気付
TEL 03-3742-3251 FAX 03-5737-7819 E-mail: nittosougi@gmail.com

JAL は雇用を確保せよ!

翼を支え続けて30年



JALの子会社つぶしは許さない!

航空連・日東整争議団

日航に会社つぶされ、解雇

日航の子会社である日東航空整備(株)は、30年に亘り、日航機(A300、MD-90型機等)の整備を行っていました。

日航から「2月以降の仕事はない」(2011年1月)と言われた日東整・経営者は「事業継続が困難」として、会社解散に追い込まれました。

その結果、全社員の雇用が奪われてしまいました。(13名解雇、131名退職)



佐藤二郎

泉聖二

不当解雇撤回・雇用継続求め提訴

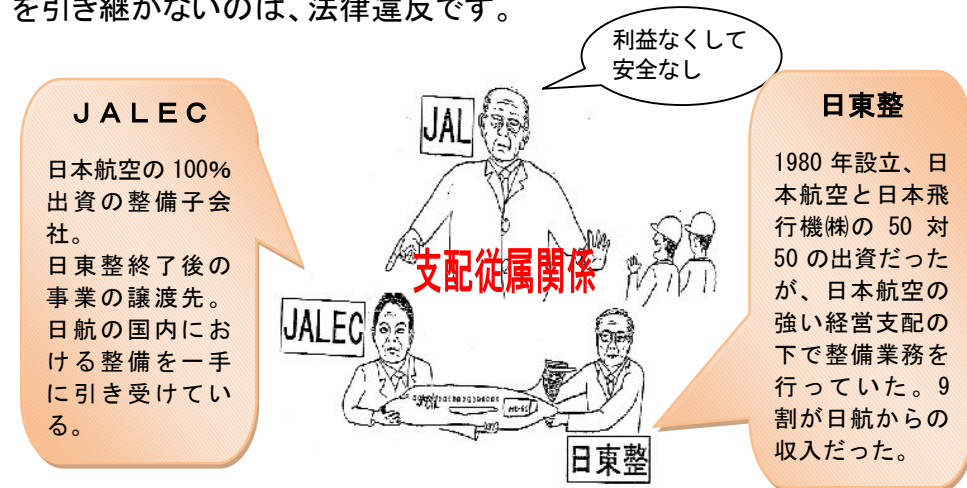
日東整が行っていた日航機の整備作業がなくなったわけではなく、JAL エンジニアリング(日航の100%整備子会社)に引き継がれました。日航は再建を口実に子会社・日東整を丸ごとつぶしました。

原告の泉聖二と佐藤二郎は、不当解雇撤回と日航グループでの雇用の継続などを求めて、2012年3月14日に東京地裁に提訴しました。



事業譲渡=雇用も引き継ぐ (労働契約承継法)

今回のケースは、日東整から JAL エンジニアリング(JALEC)への事業譲渡であることが明らかです。それなのに労働契約(従業員の雇用)を引き継がないのは、法律違反です。



狙いは組合つぶし

日航の整備子会社統合時に、日東整・従業員だけが除外されてしまいました。日航が航空連傘下の日東整労組の存在を嫌悪して、子会社同士の統合をさせなかった事にあります。狙いは組合つぶしであることは明らかです。

日東整経営代表発言

『(日航から)労務問題を起こす会社は選別されると言われている。JAL から必要だと言われる会社にしなくてはならない』(2003年～2006年労使交渉組合議事録より)